

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

眼窩疾患の画像所見についての後ろ向き研究

[研究責任者]

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター放射線科医師 丸中三菜子

[研究の背景]

眼窩疾患は、眼球疾患と眼球外疾患にわけられ、それぞれ炎症や腫瘍を主体に様々な疾患があります。これらの疾患に対する治療法の選択には、画像による鑑別診断が重要です。また病変の進展度を評価することも必要になります。当院では多数の眼窩領域の画像検査が行われており、他施設と比較し鑑別診断をする機会が多いです。

[研究の目的]

当院で眼窩疾患が疑われ行われた画像検査所見と、臨床経過や過去の報告とを比較し、その画像所見について後方視的に検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

眼窩疾患の患者さんで、2013年1月1日から2024年8月31日の間にCT,MRI,RIの検査を受けた方

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から2025年3月31日まで
利用または提供を開始する予定日：委員会承認後、1週間以降の予定

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報について

・試料について

試料：なし

・カルテ等の情報

診断名、年齢、臨床所見、画像検査(CT,MRI,RI)、治療方法

●試料や情報の管理

カルテの情報は、解析が行われた後、研究代表者が適切に保管・管理します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究において、利益相反^{*}はありません。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター
放射線科 丸中三菜子
電話 086-294-9911（病院代表）